

## 「仙台市障害者等保健福祉基礎調査」のアンケート結果（概要）について

### 1 目的

本調査は、次期「仙台市障害者保健福祉計画」及び第3期「仙台市障害福祉計画」の策定にあたり、市内に在住する障害児（者）等の実態や保健福祉サービスの利用動向及び利用意向等を調査し、また、市民の障害児（者）に対する理解の状況等を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施した。

### 2 調査方法

#### （1）アンケートによる調査

調査対象者に調査票を郵送する方法と、施設や医療機関の協力により調査対象者へ配付する方法による。いずれも、記入後、返信用封筒により返送

#### （2）調査期間

平成22年12月6日から平成22年12月27日まで

（ただし、精神障害者本人（入院）については、平成23年1月7日まで）

### 3 調査対象及び回収状況

調査対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
身体障害者本人	1,457名	842名	57.8%
知的障害者本人	691名	364名	52.7%
知的障害者の家族	500名	269名	53.8%
心身障害児の家族	500名	225名	45.0%
精神障害者本人（通院）	998名	564名	56.5%
精神障害者本人（入院）	286名	162名	56.6%
精神障害者の家族	348名	149名	42.8%
難病患者本人	498名	291名	58.4%
発達障害（児）者の家族	420名	108名	25.7%
市民	996名	497名	49.9%
総合計	6,694名	3,471名	51.9%

# 仙台市障害者等保健福祉基礎調査アンケート結果（概要）

## 【目次】

就労状況について .....	1
社会参加について .....	5
福祉サービスのことについて .....	8
生活について .....	10
精神科病院入院について .....	13
災害対策について .....	14
地域移行について .....	17
障害者に対する意識について .....	18

### 【現行の仙台市障害者保健福祉計画（平成18年度～平成23年度）について】

#### 《 基本理念 》

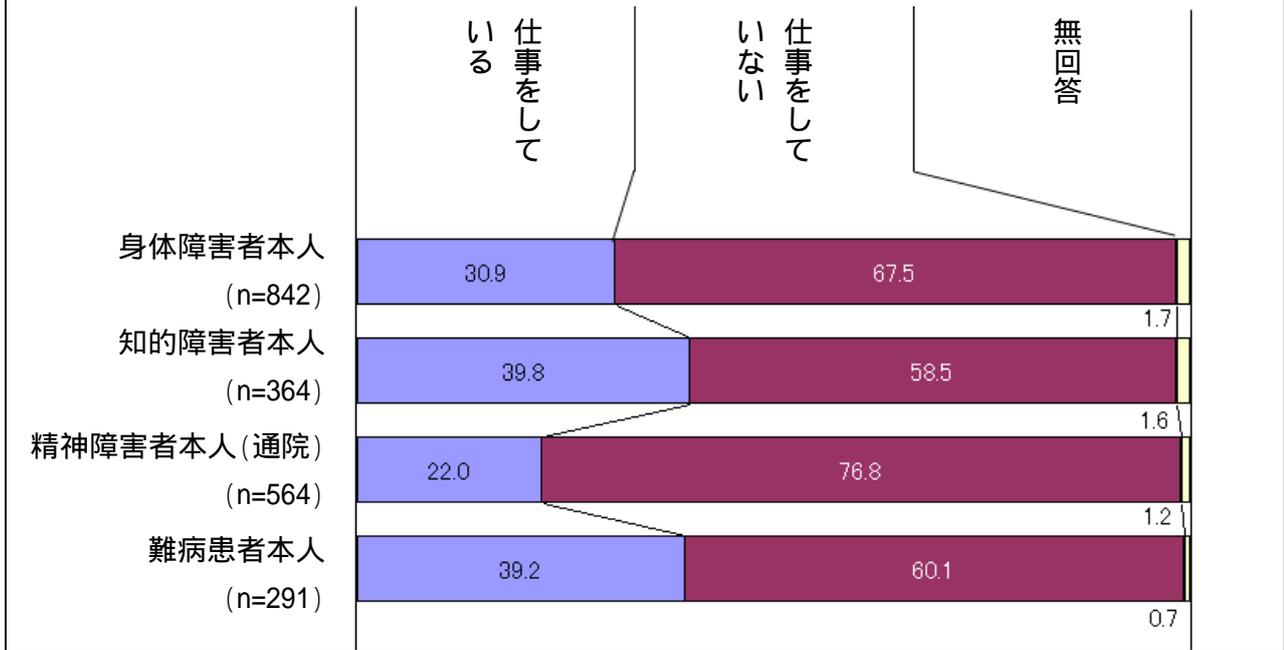
- (1) 「完全参加と平等」
- (2) 「ノーマライゼーション」
- (3) 「リハビリテーション」

#### 《 基本目標 》

誰もが生きがいや働きがいを持ち  
自立した地域生活を送ることができるまちづくり

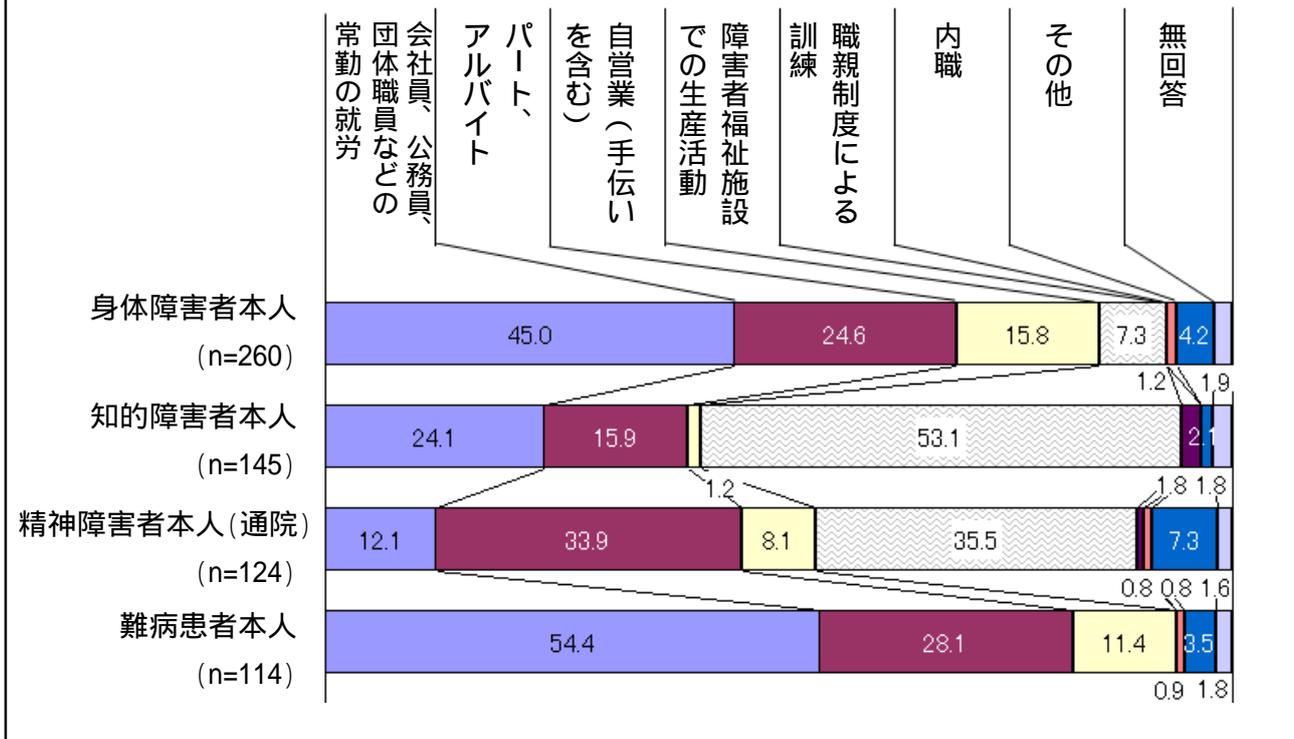
## 就労状況について

あなたは仕事をしていますか。(単数回答)



知的障害者本人と難病患者本人については、「仕事をしている」が40%弱となっているが、精神障害者本人については、22%となっている。

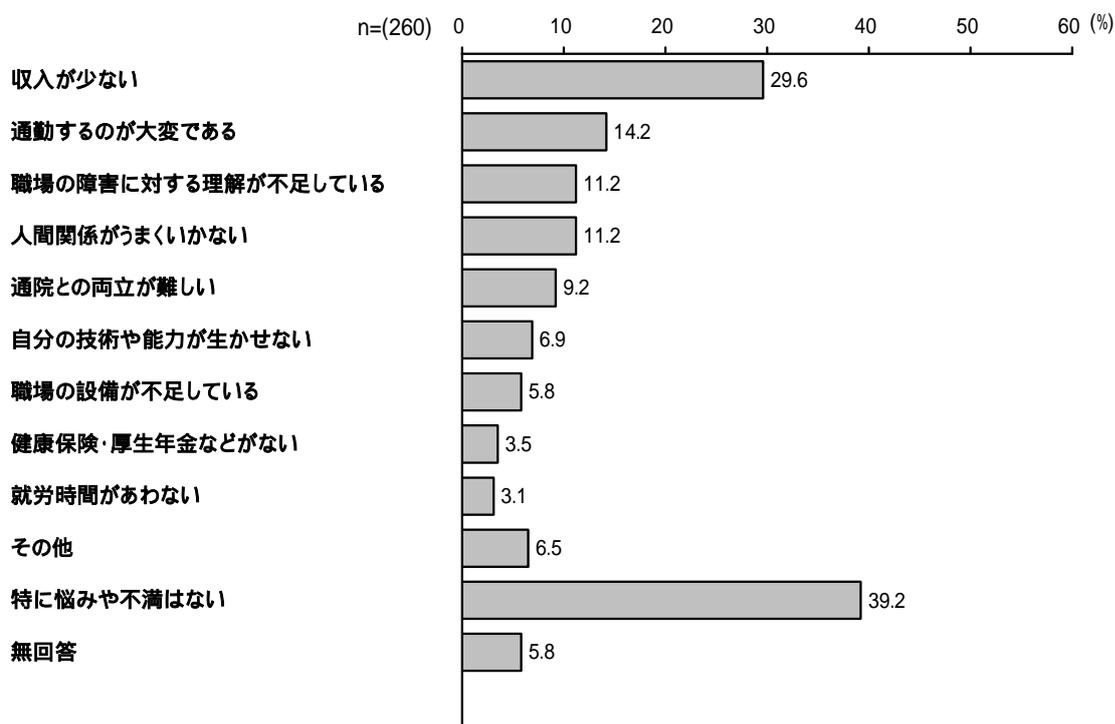
どのような仕事に就いていますか。(単数回答)



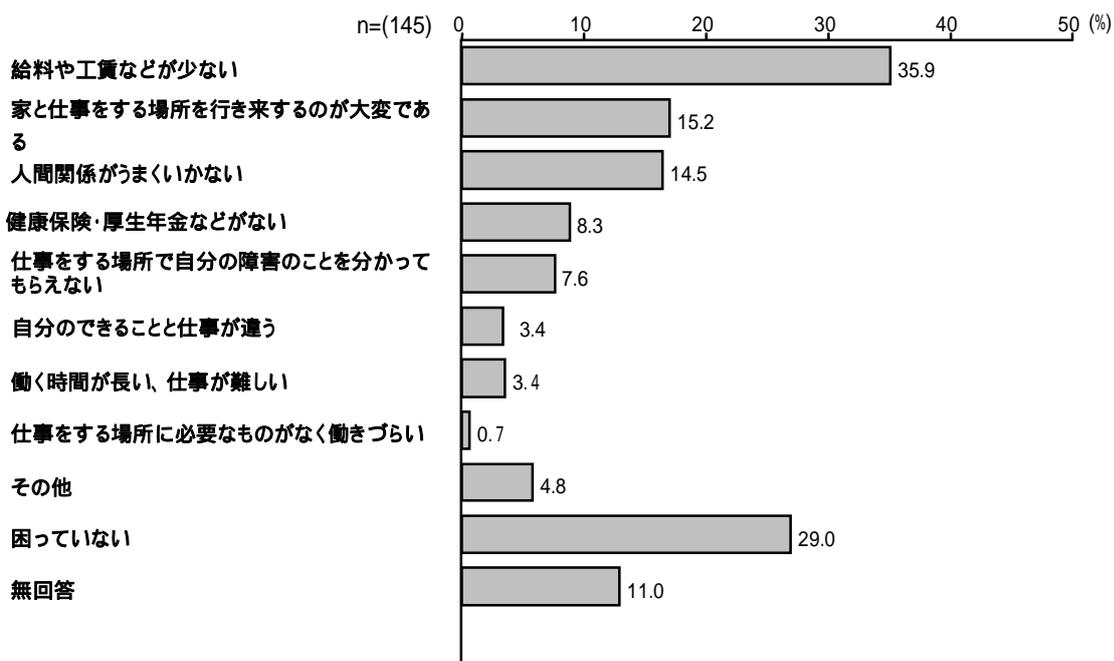
身体障害者本人、難病患者本人について、「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」・「パート、アルバイト」を併せて、70%~80%となっているが、知的障害者について、「福祉施設での生産活動」が過半数となっている。

あなたは仕事をしている上で、何か悩みや不満などがありますか。(複数回答)

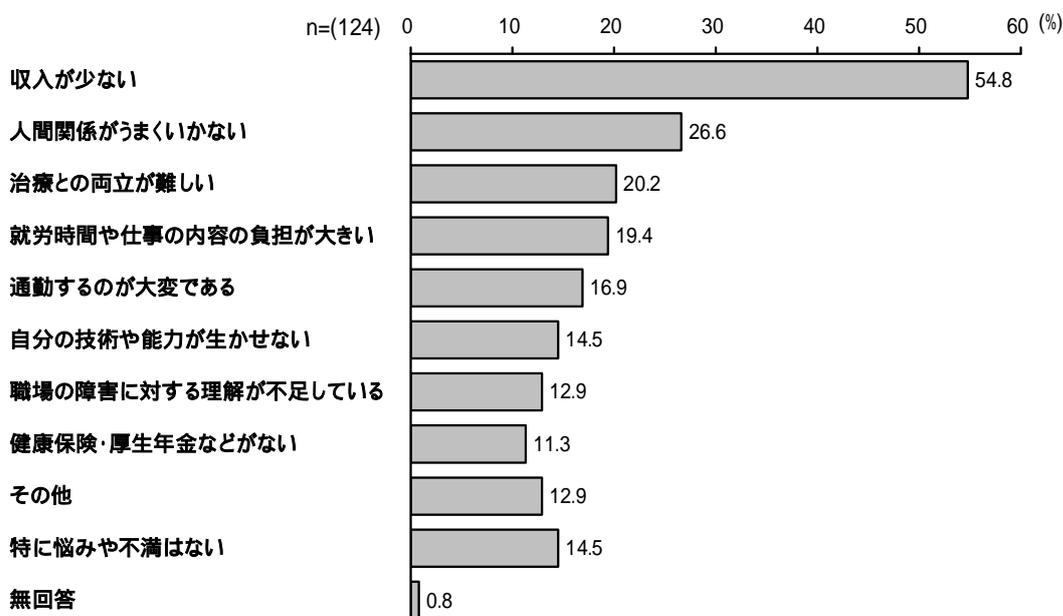
【身体障害者本人】



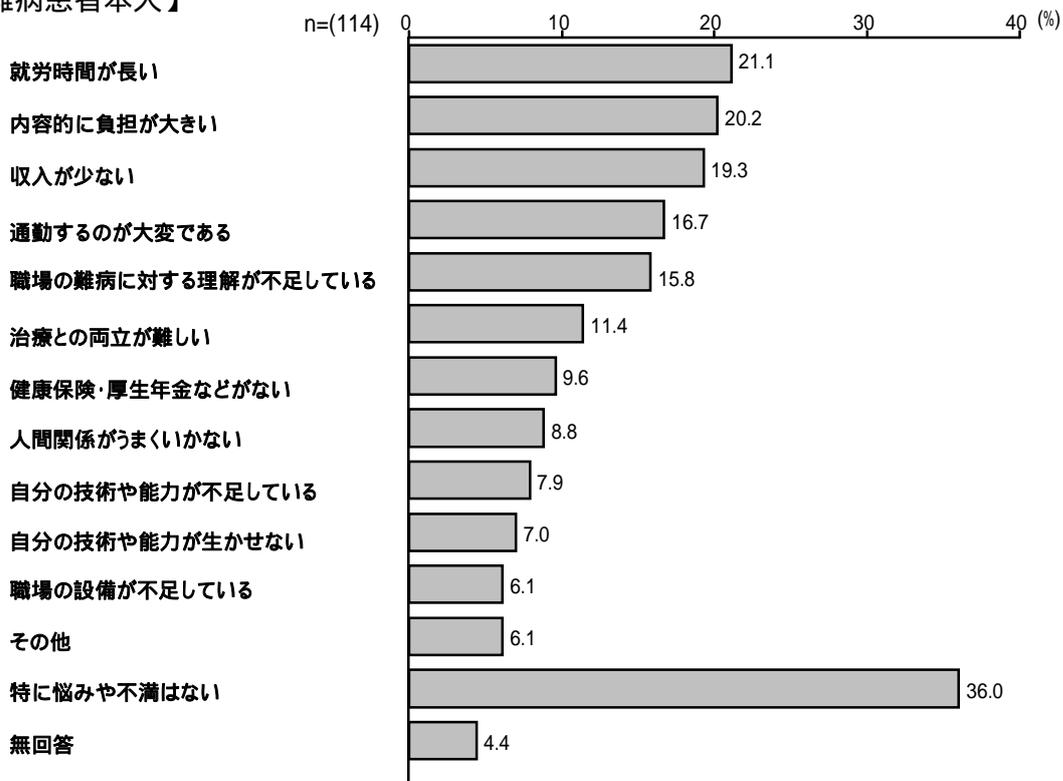
【知的障害者本人】



【精神障害者本人（通院）】



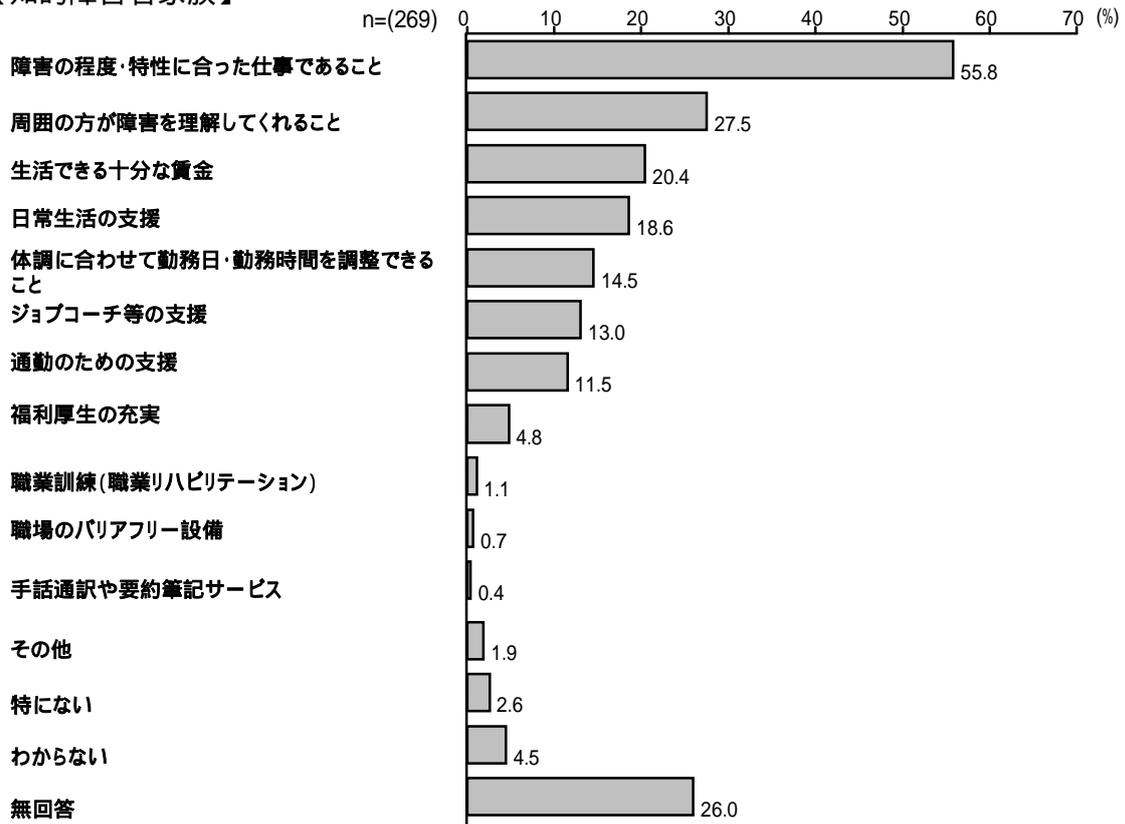
【難病患者本人】



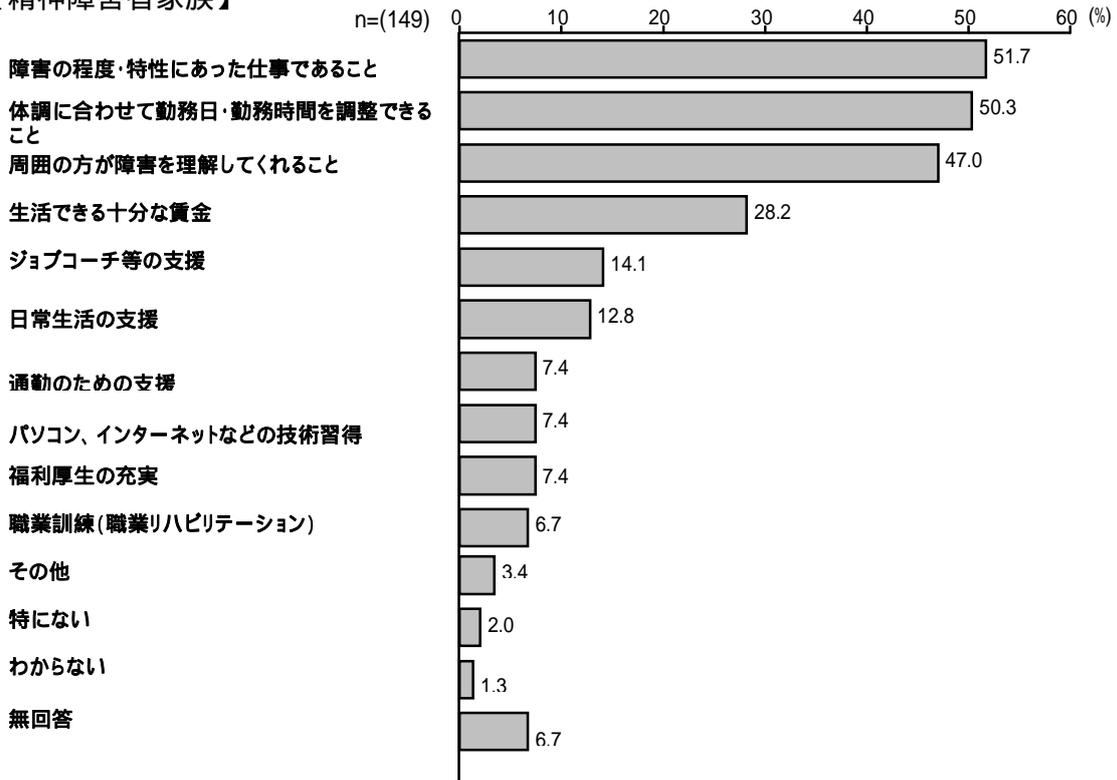
知的障害者本人及び精神障害者本人については、「収入（工賃）が少ない」ことについての悩みや不満が多く、身体障害者本人及び難病患者本人は、「特に悩みや不満はない」が多い。

ご本人が仕事を続ける（仕事に就く）ためには何が必要と思いますか。（複数回答）

【知的障害者家族】

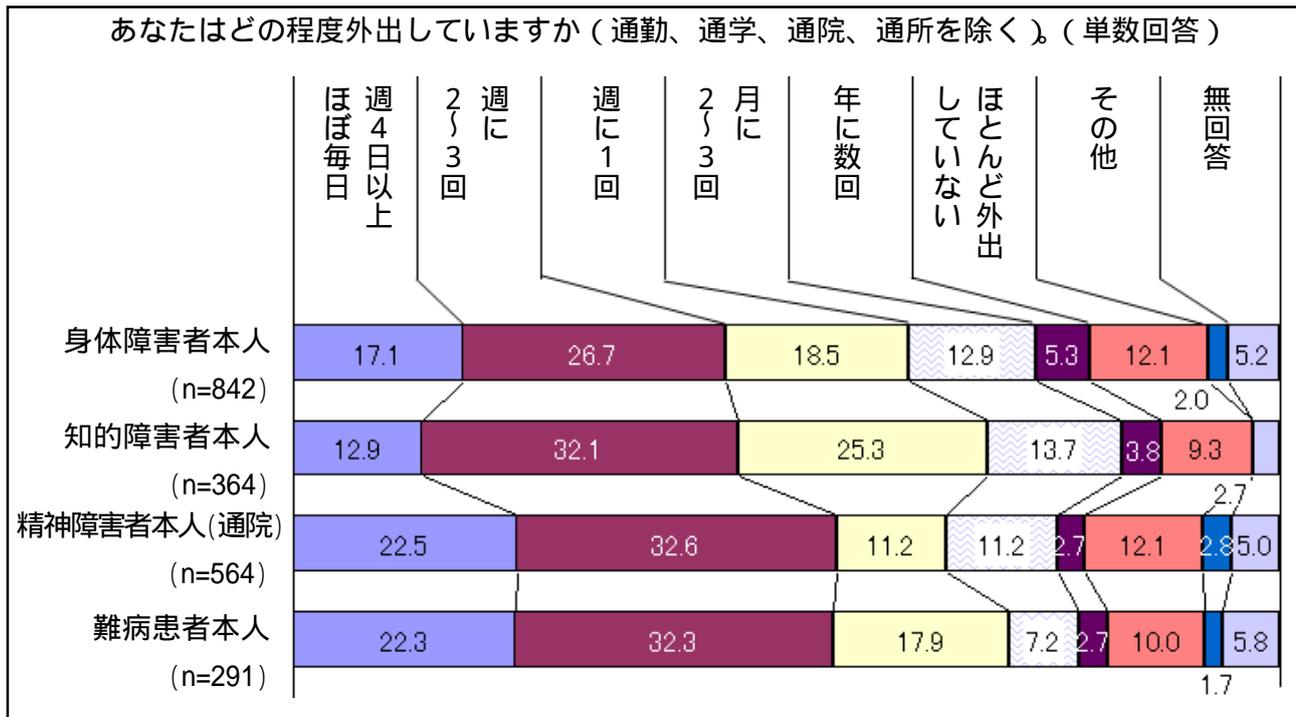


【精神障害者家族】

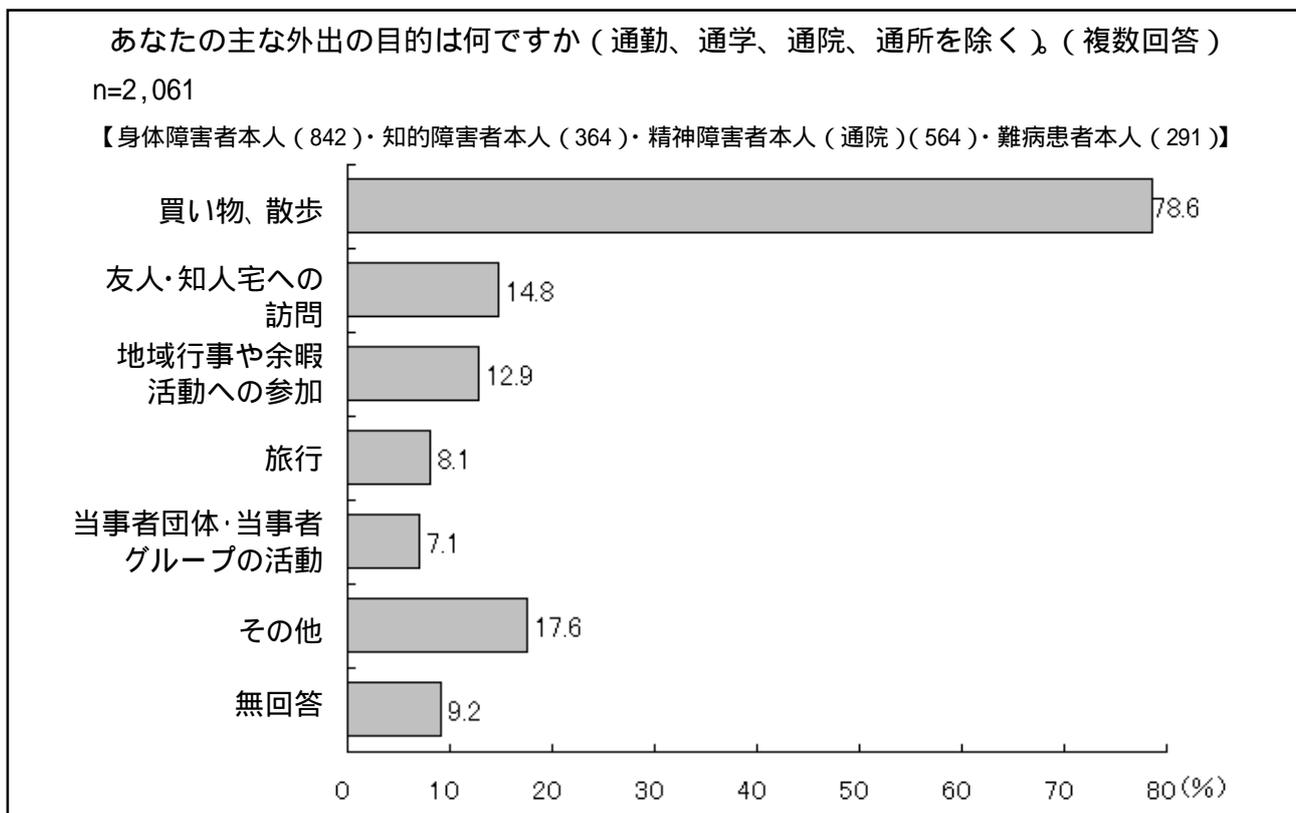


知的障害者の家族及び精神障害者の家族の回答について、「障害の程度・特性にあった仕事であること」が最も多く、精神障害者の家族については、「体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること」が多い。

## 社会参加について



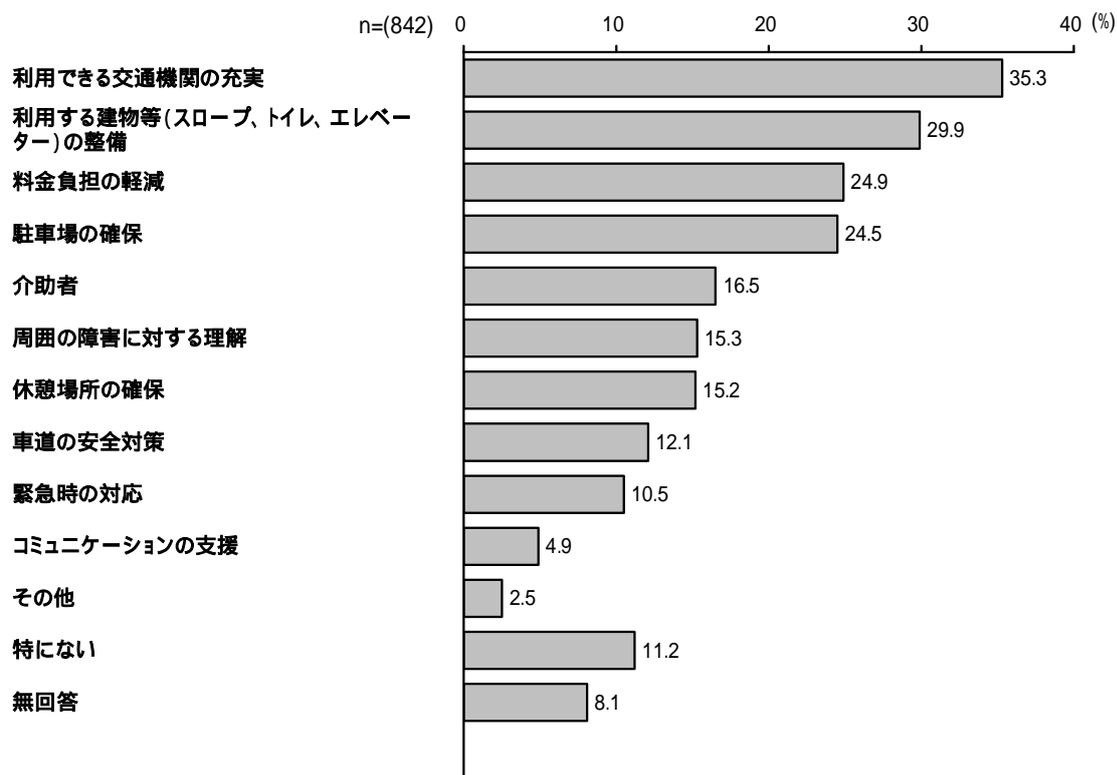
外出頻度（通勤、通学、通院、通所を除く）については、いずれも「週に2~3回」が最も多い。



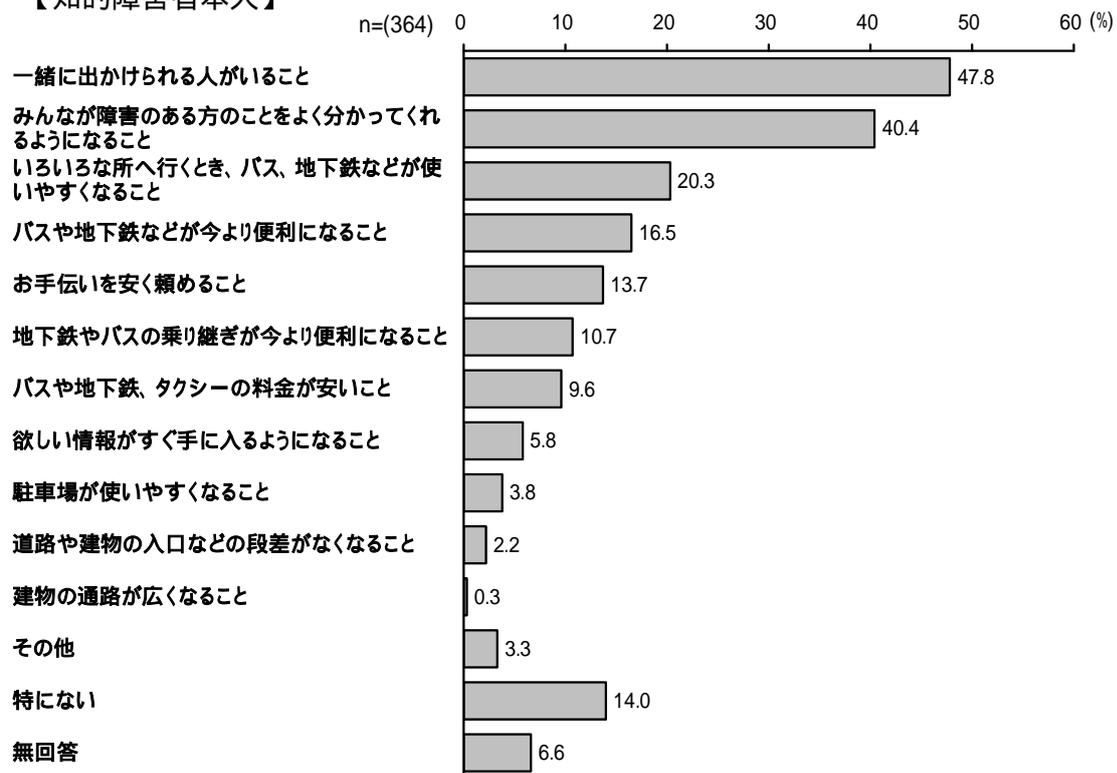
外出の主な目的については、「買い物、散歩」が最も多い。

あなたがより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(複数回答)

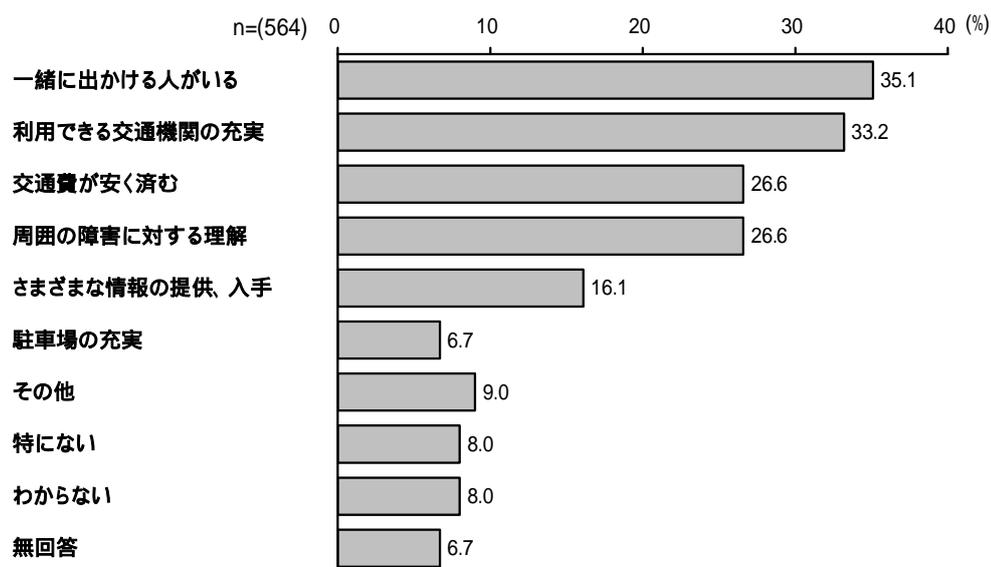
【身体障害者本人】



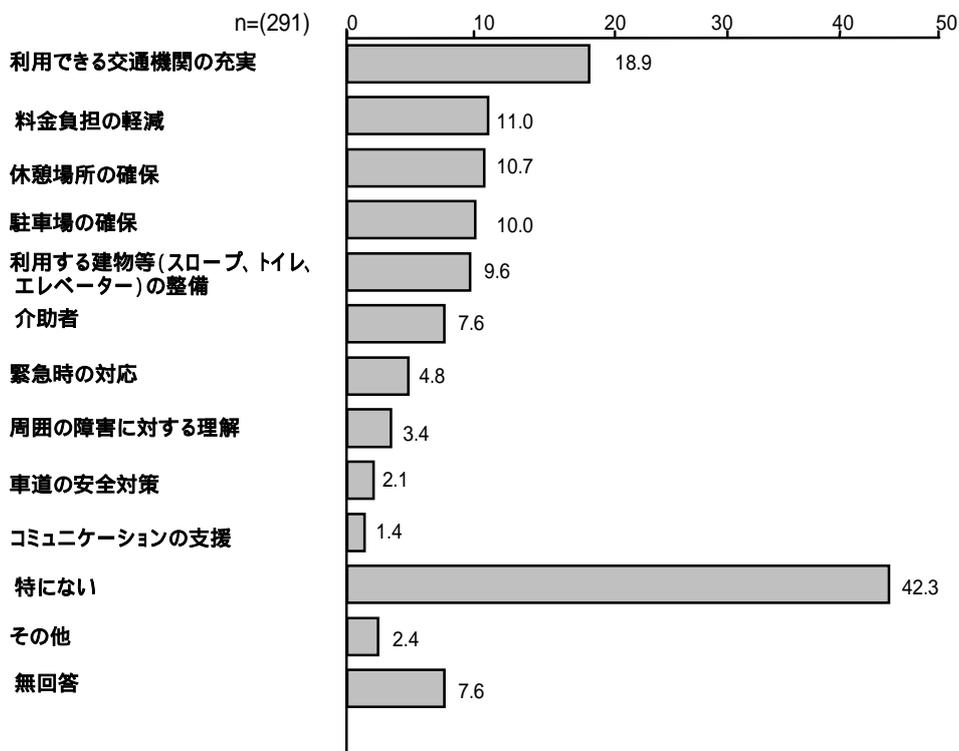
【知的障害者本人】



### 【精神障害者本人（通院）】



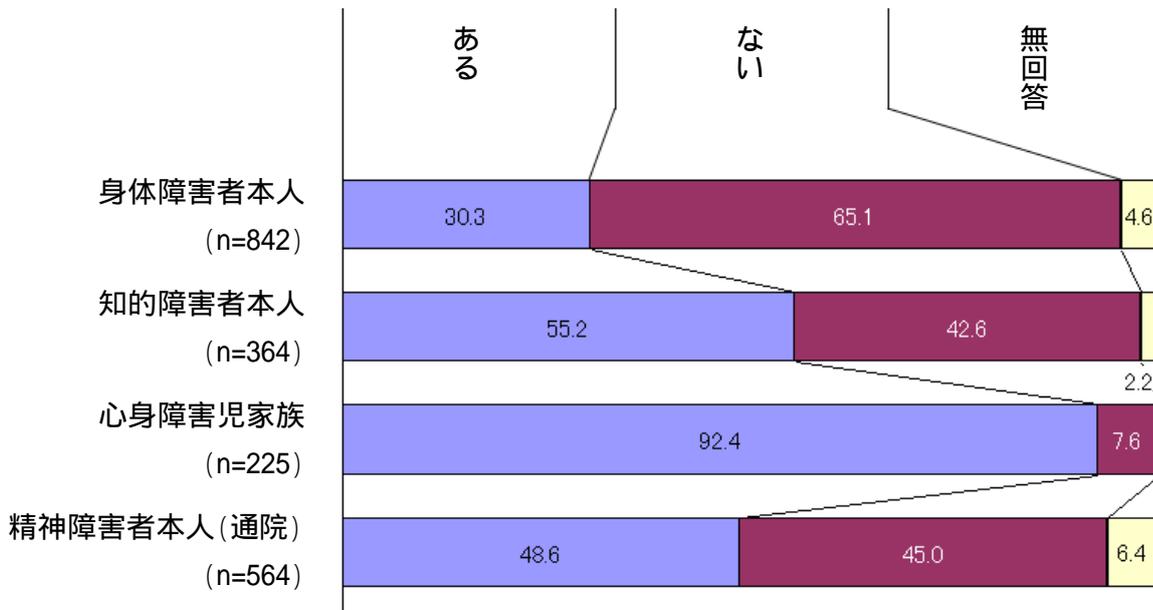
### 【難病患者本人】



より外出しやすくなるために必要なことについては、身体障害者本人については、「利用できる交通機関の充実」が多く、知的障害者本人及び精神障害者本人については、「一緒に出かけられる人がいる」が最も多くなっている。難病患者本人については、「特にない」が最も多い。

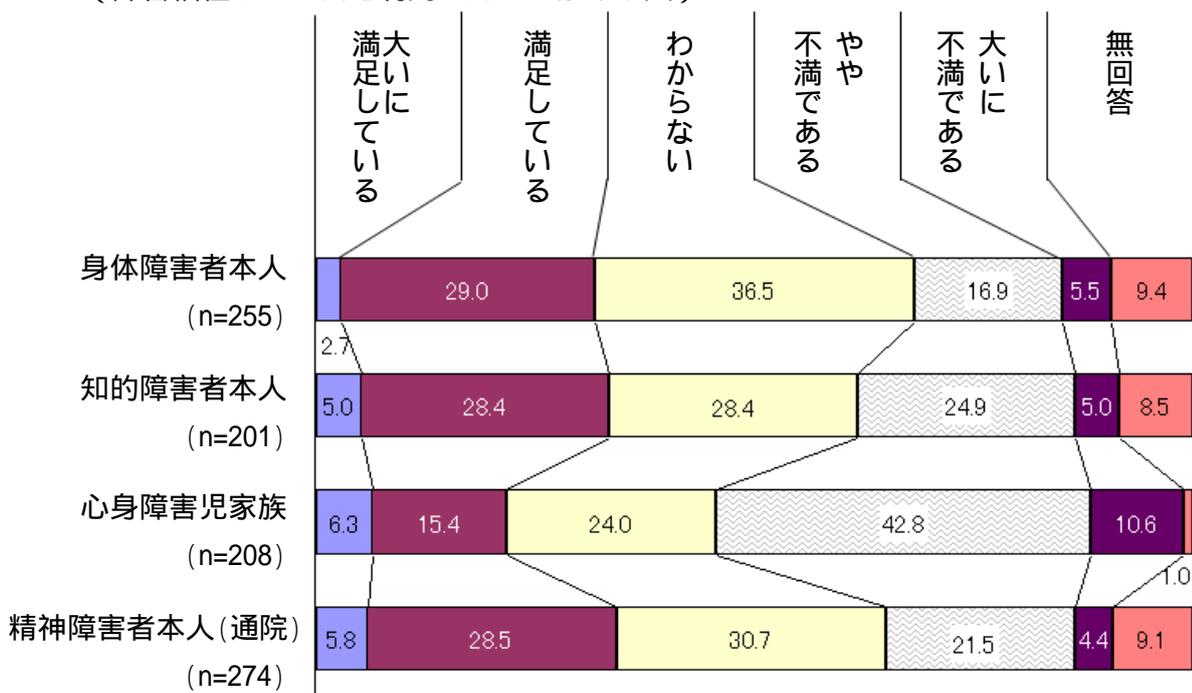
## 福祉サービスのことについて

障害者の福祉サービスを利用したことがありますか。(単数回答)



心身障害児の家族について、障害者の福祉サービスを利用したことが「ある」は90%を超えているが、身体障害者の利用は30%程度となっている。

現在、あなたは仙台市にある障害者の福祉サービスに満足していますか。(単数回答)  
(障害福祉サービスを利用したことがある人)

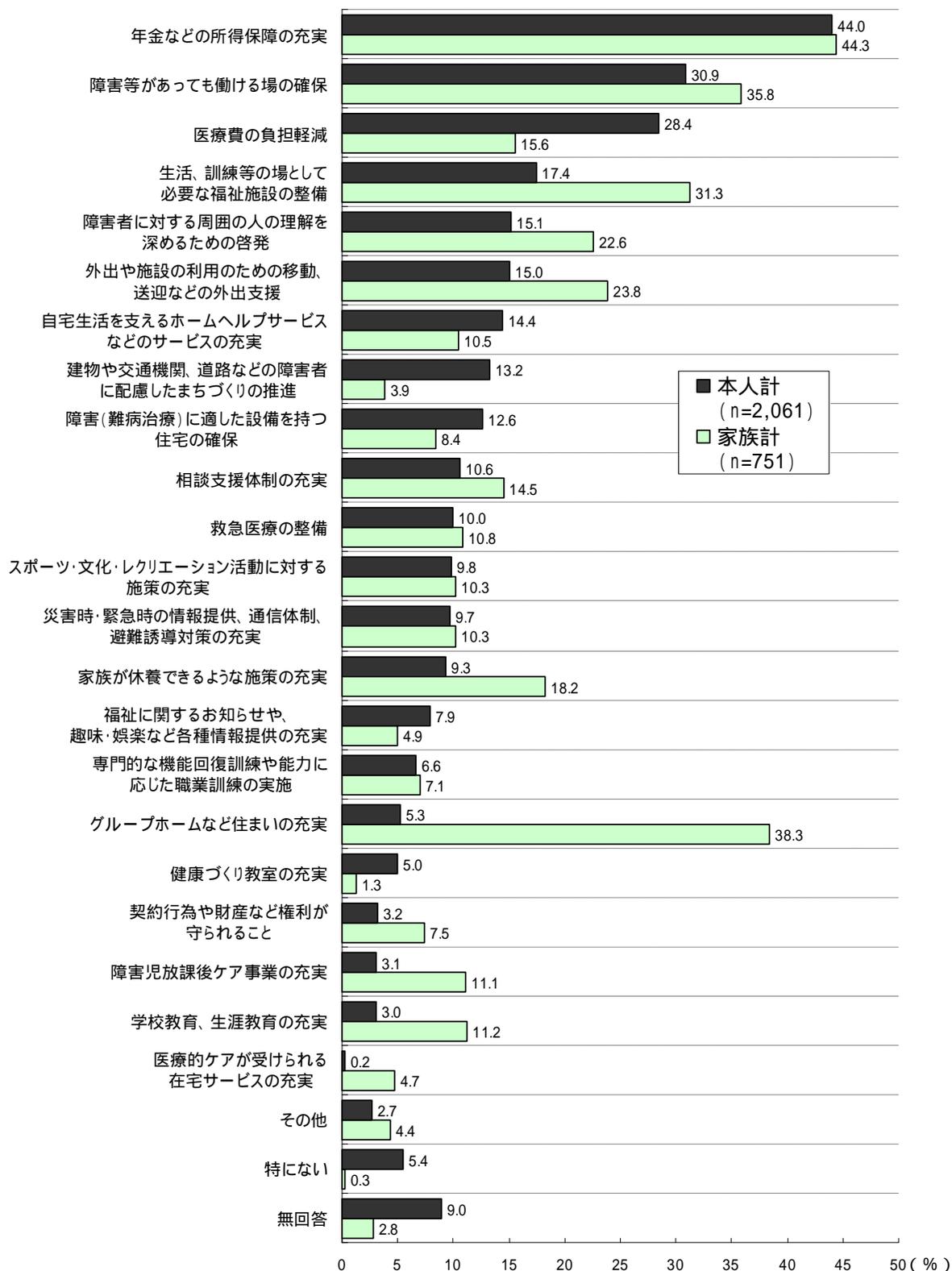


身体障害者、知的障害者及び精神障害者については、「大いに満足している」、「満足している」を合わせると、いずれも30%強であるが、心身障害児の家族については、「やや不満である」、「大いに不満である」を合わせると50%強となっている。

## あなたが今後充実してほしい施策は何ですか。(複数回答)

本人計 n=2,061【身体障害者本人(842)・知的障害者本人(364)・精神障害者本人(通院)(564)・難病患者本人(291)】

家族計 n=751【知的障害者家族(269)・心身障害児家族(225)・精神障害者家族(149)・発達障害児(者)家族(108)】

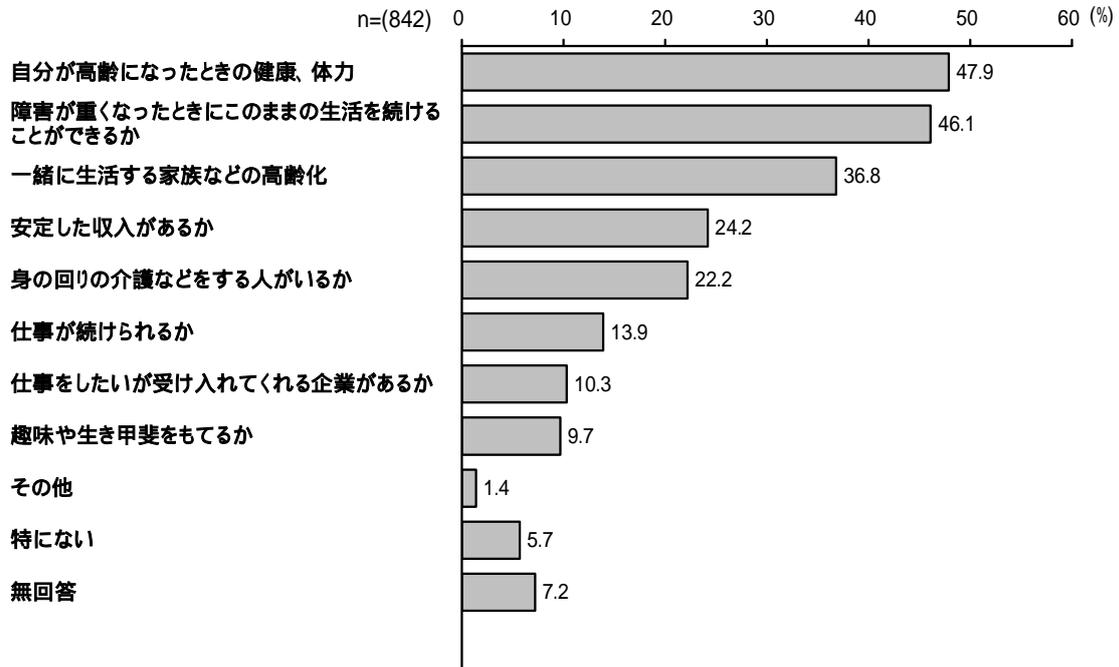


障害者本人及び家族ともに、「年金などの所得保障の充実」、「障害があっても働ける場の確保」が多い。障害者本人については、「医療費の負担軽減」が、家族については、「グループホームなど住まいの充実」が多くなっている。

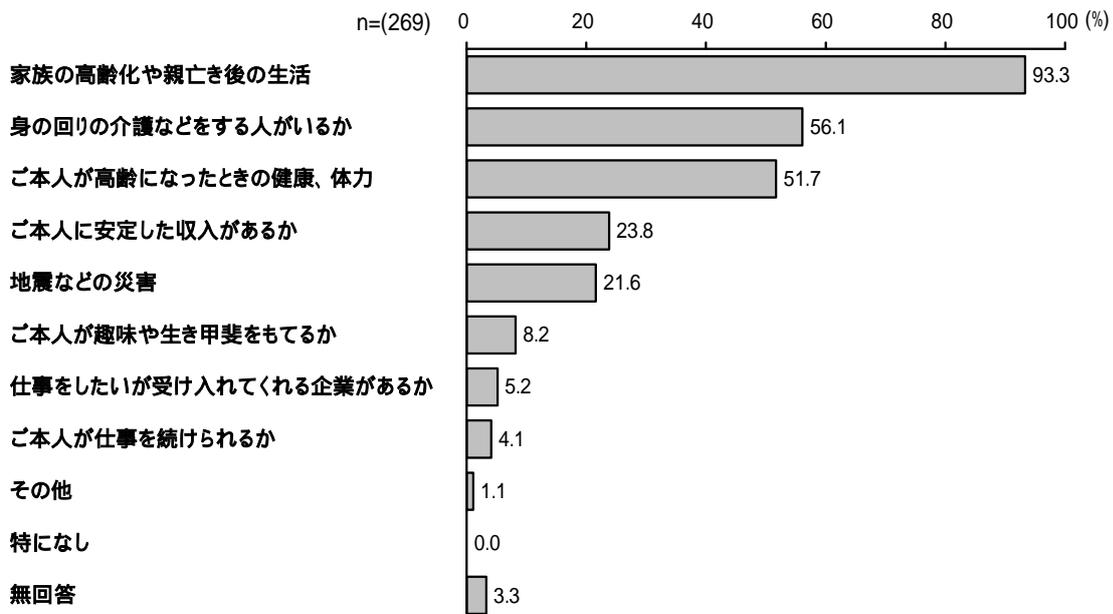
## 生活について

今後のことで不安を感じていることはありますか。(複数回答)

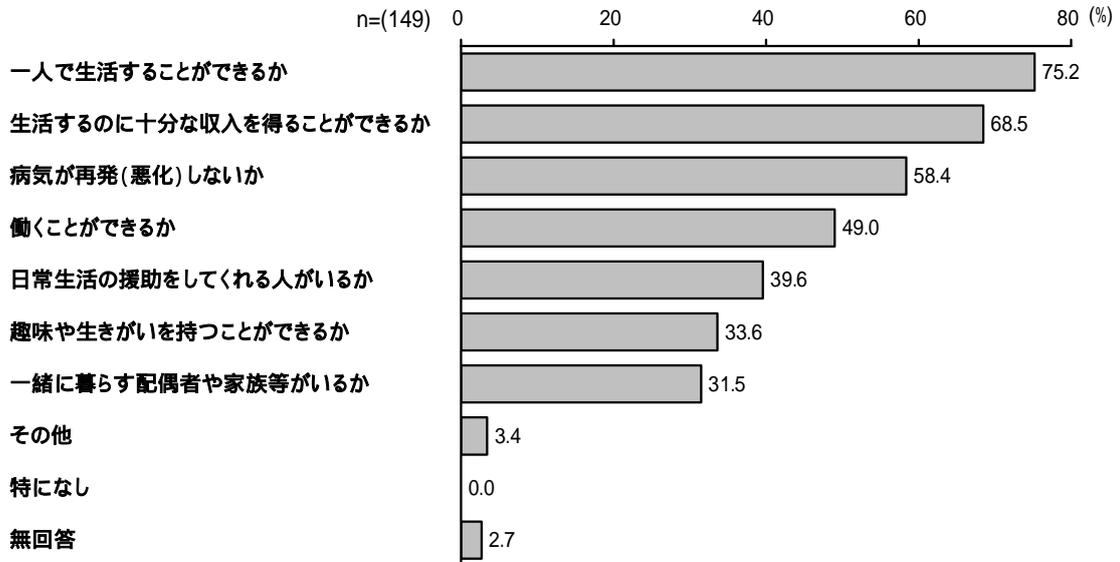
### 【身体障害者本人】



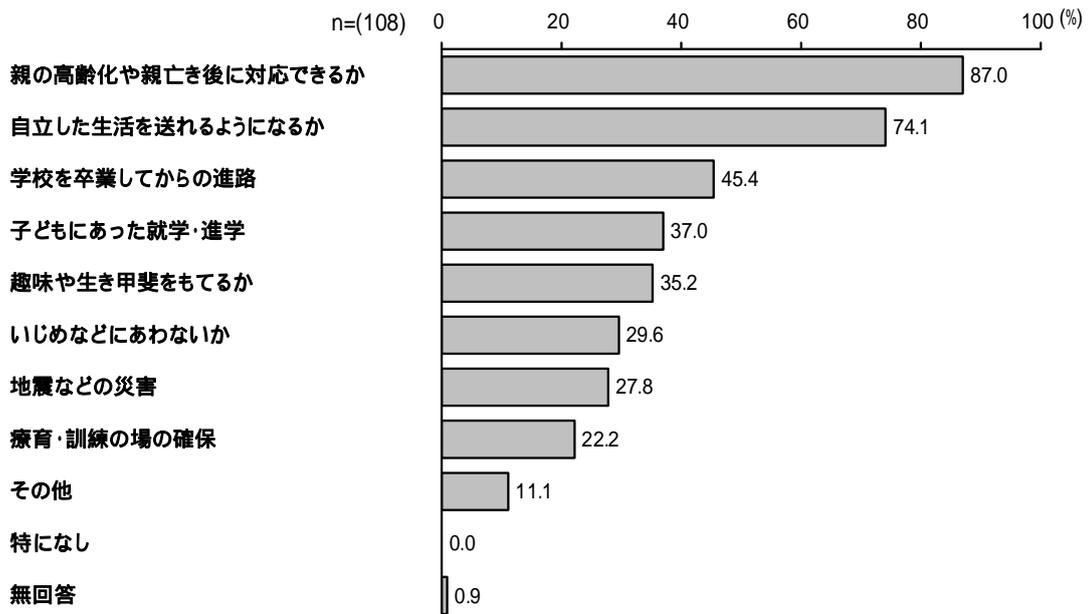
### 【知的障害者家族】



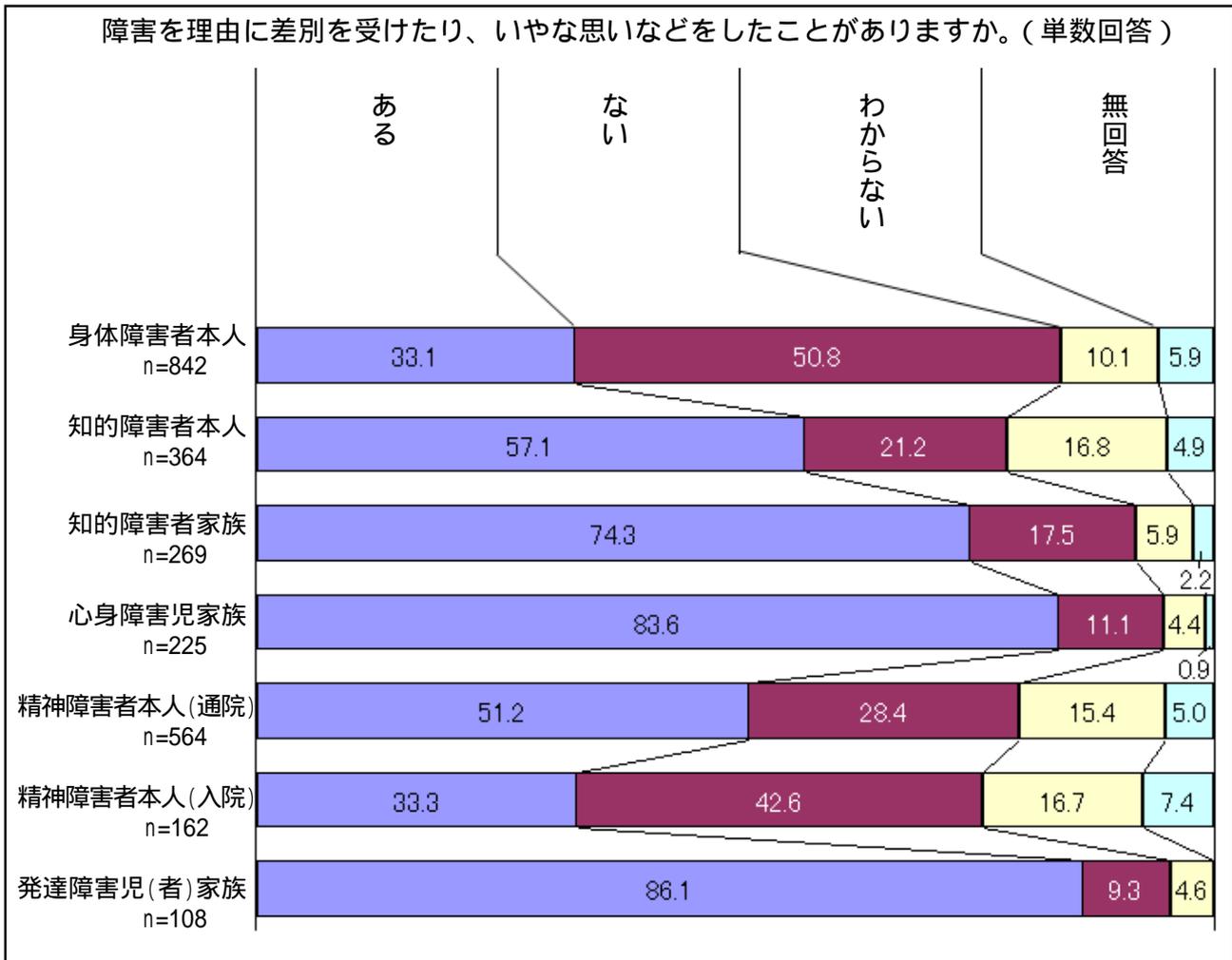
【精神障害者家族】



【発達障害児(者)家族】



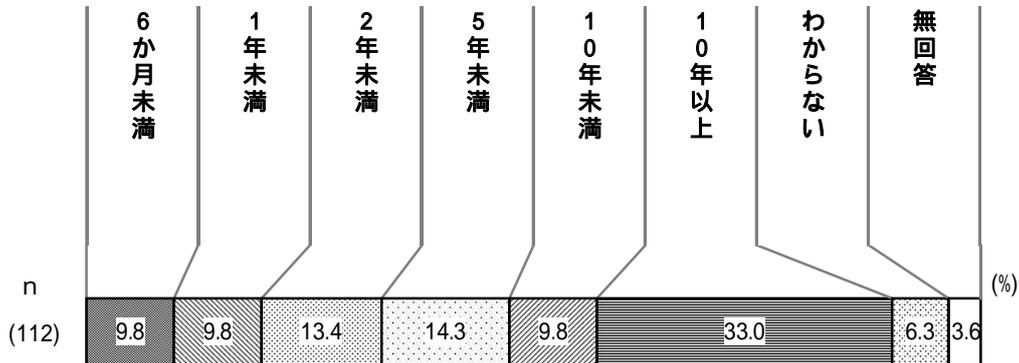
知的障害者の家族及び発達障害児(者)の家族について、家族・親の高齢化や親が亡くなった後の生活についての不安が最も多くなっている。精神障害者の家族も含め、本人の将来の介護、収入等についての不安に関する回答が多い。



知的障害者の家族、心身障害児の家族及び発達障害児(者)の家族について、「ある」とする回答が多くなっている。

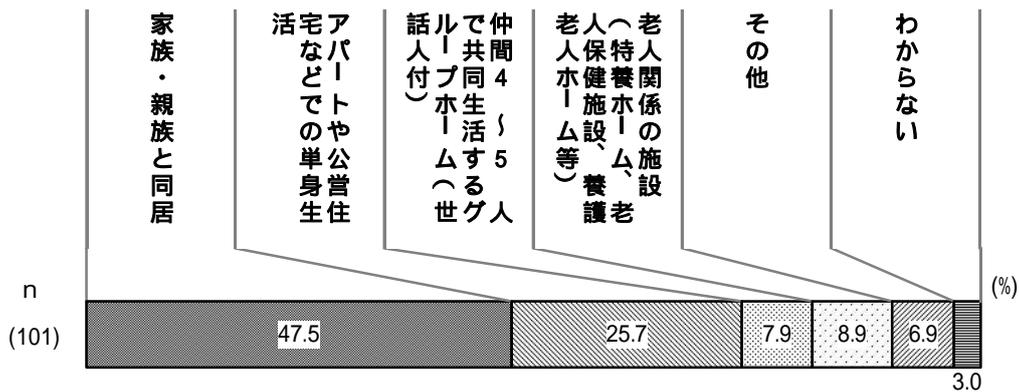
## 精神科病院入院について【精神障害者本人（入院）】

入院の期間は通算するとどのくらいの期間になりますか。（単数回答）



通算入院期間については、「10年以上」(33.0%)が最も多く、以下「5年未満」(14.3%)、「2年未満」(13.4%)となっている。

退院後、あなたはどこで生活をしたいと思いますか。（単数回答）



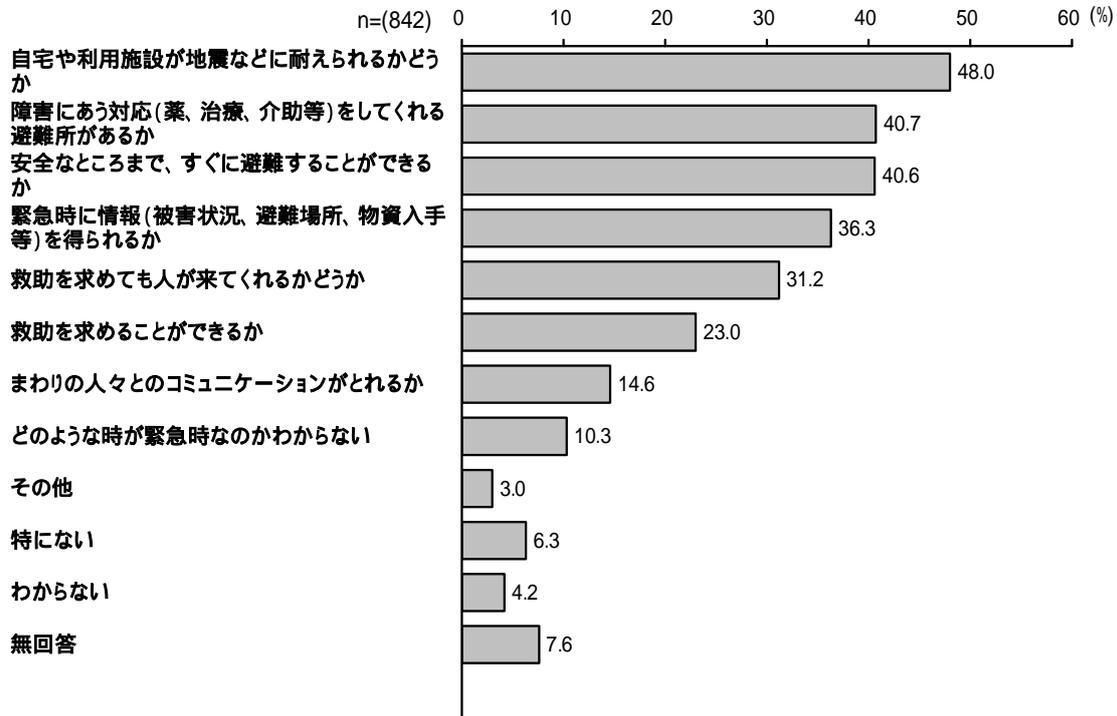
退院後に希望する生活については、「家族・親族と同居」(47.5%)が最も多く、以下「アパートや公営住宅などで単身生活」(25.7%)となっている。

## 災害対策について

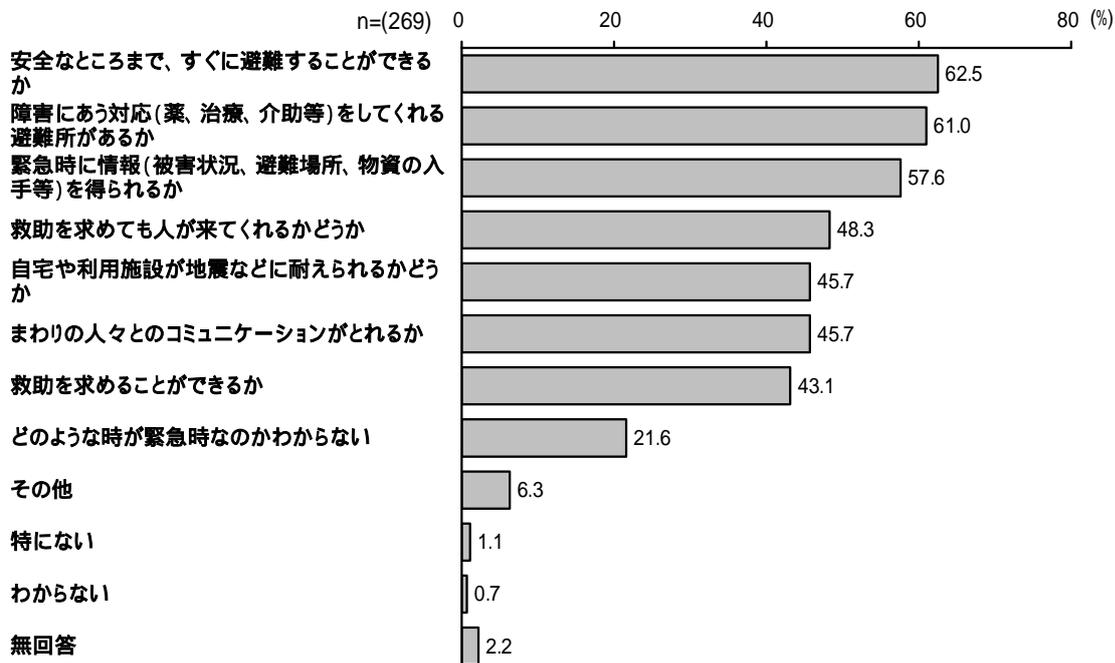
地震などのいざという時のことで、あなたが不安に感じていることは何ですか。

(複数回答)

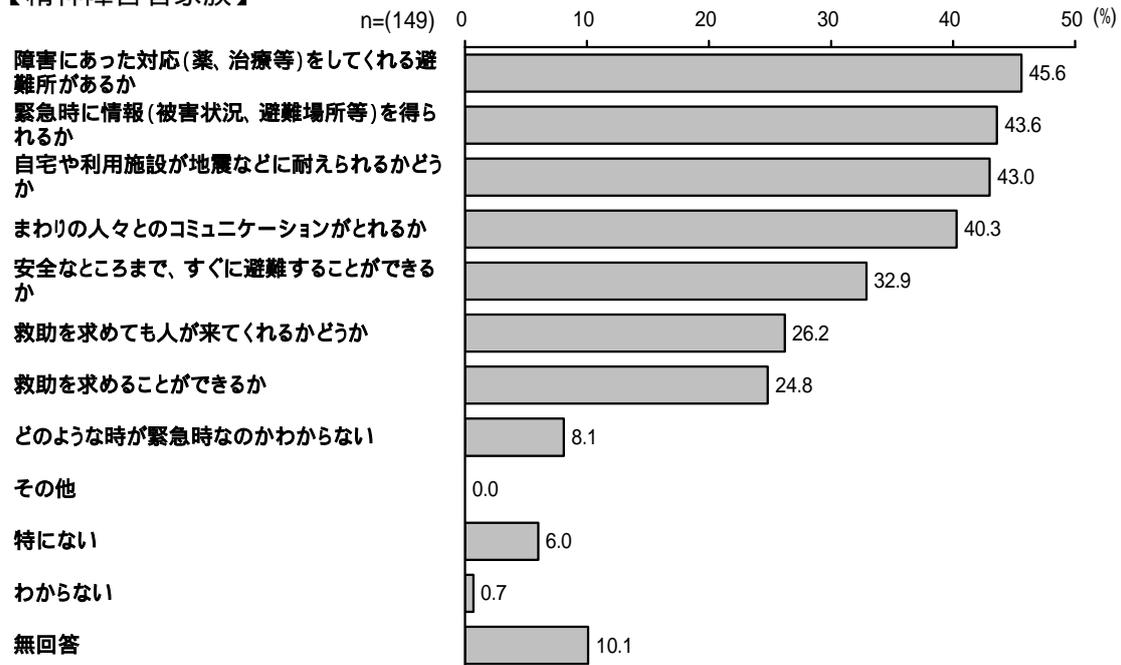
### 【身体障害者本人】



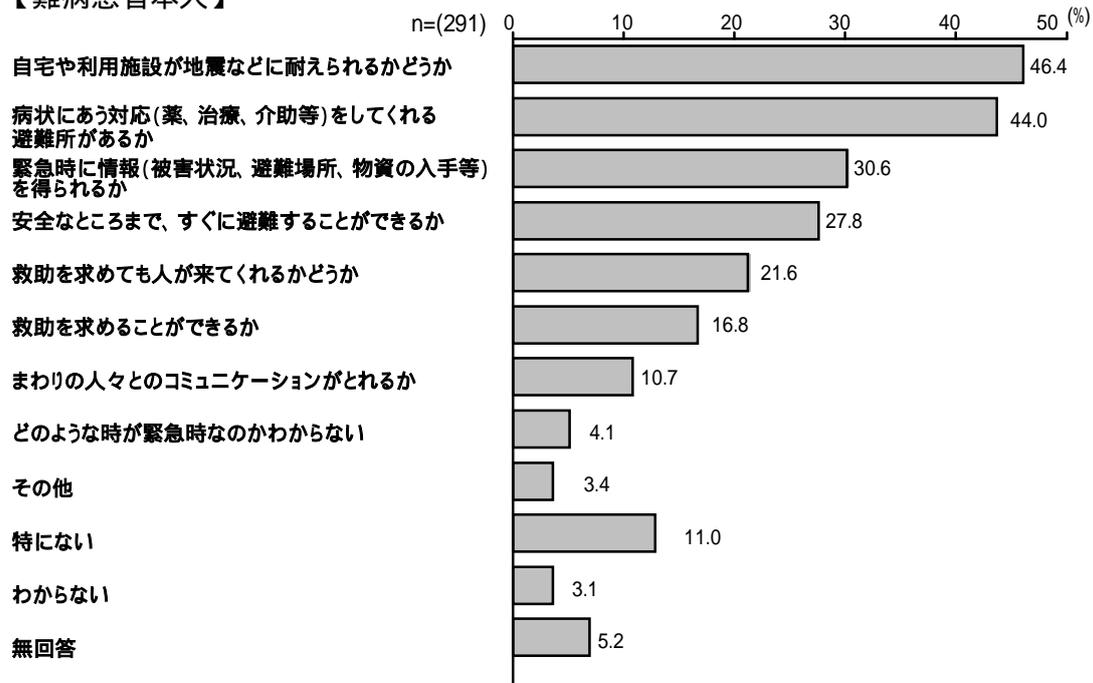
### 【知的障害者家族】



### 【精神障害者家族】



### 【難病患者本人】



地震などのいざという時、ふだん不安に感じていることについては、身体障害者本人及び難病患者本人は、「自宅や利用施設が地震などに耐えられるかどうか」が最も多い。

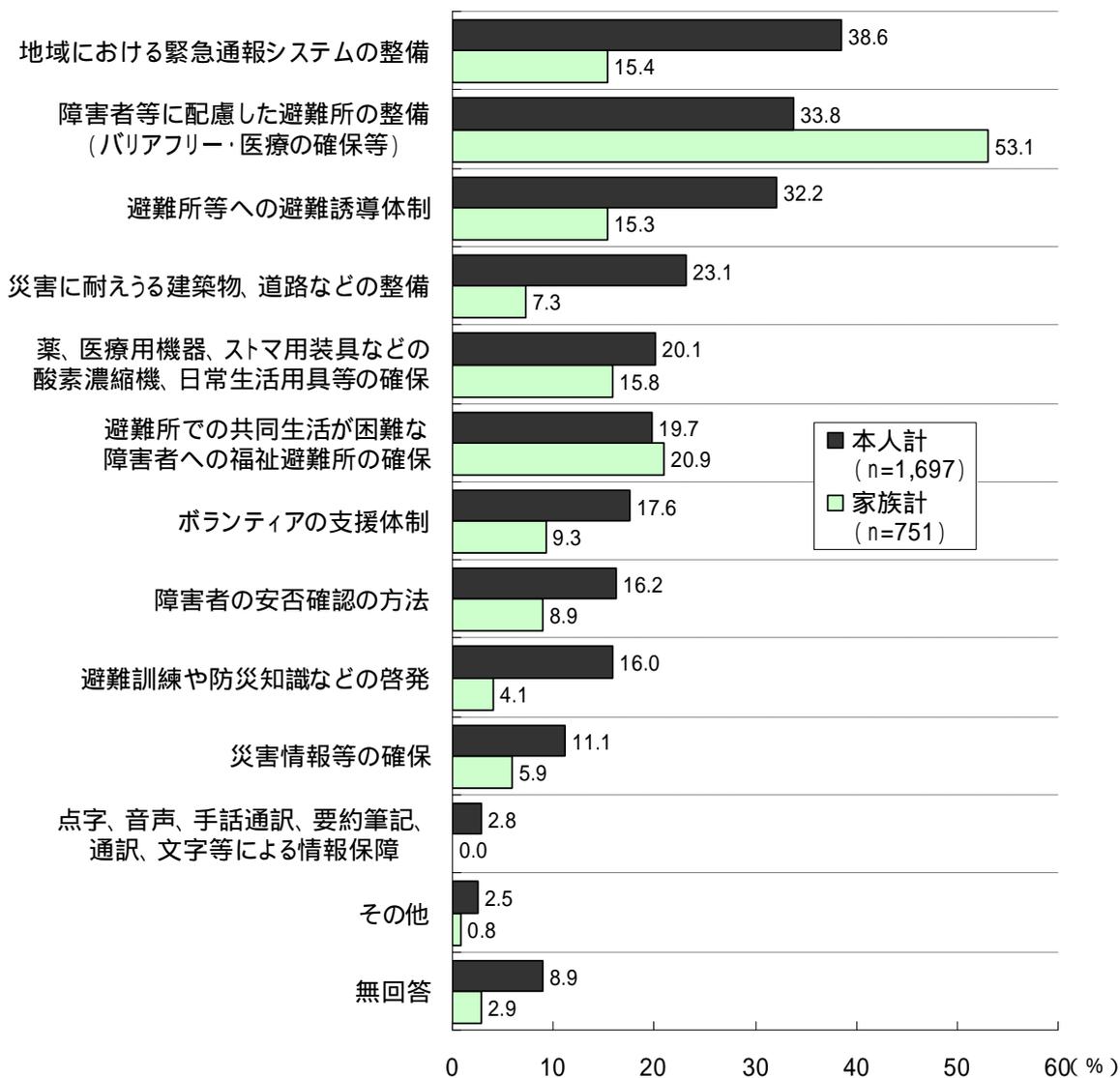
知的障害者の家族は、本人が「安全なところまで、すぐに避難することができるか」が最も多く、精神障害者の家族は、本人にとって、「障害にあった対応(薬、治療等)をしてくれる避難所があるか」が最も多い。

地震、台風などの災害に対して最も大切と思う対策はどんなことだと思いますか。

(複数回答)

本人計 n=1,697【身体障害者本人(842)・精神障害者本人(通院)(564)・難病患者本人(291)】

家族計 n=751【知的障害者家族(269)・心身障害児家族(225)・精神障害者家族(149)・発達障害児(者)家族(108)】



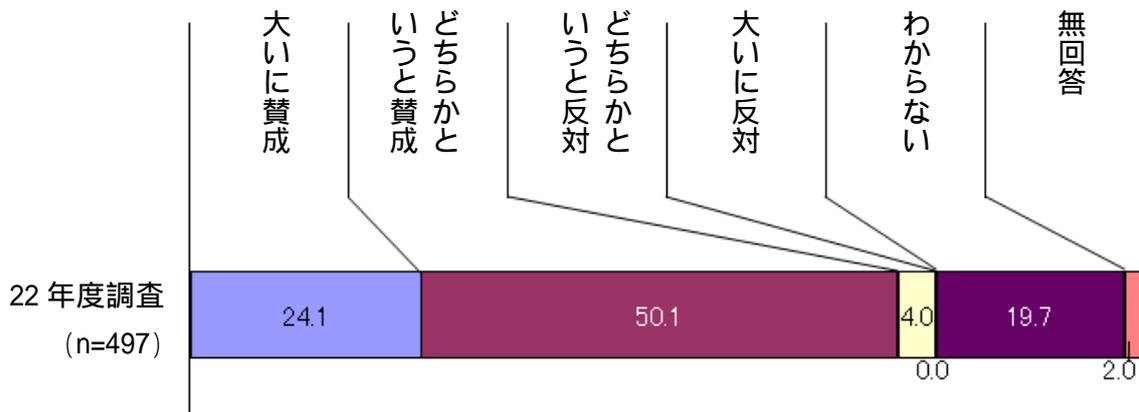
障害者本人については、「地域における緊急通報システムの整備」が最も多い。

障害者の家族については、「障害者等に配慮した避難所の整備(バリアフリー・医療の確保)」、「避難所での共同生活が困難な障害者への福祉避難所の確保」が多い。

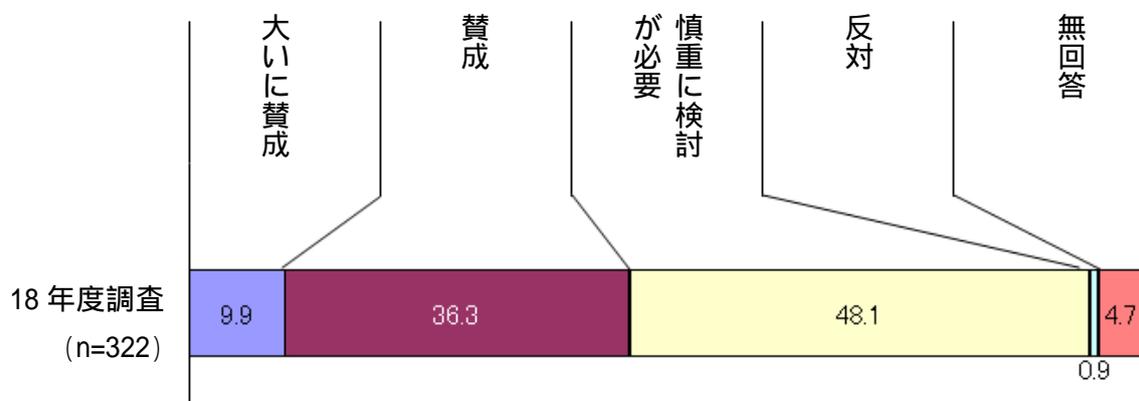
「避難所等への避難誘導體制」は、本人・家族ともに比較的多くなっている。

## 地域移行について【市民】

あなたは障害のある人が施設や病院から退所・退院し、グループホームやアパート・借家等を利用して、地域で生活することについてどうお考えですか。（単数回答）



### 【参考 前回調査結果】

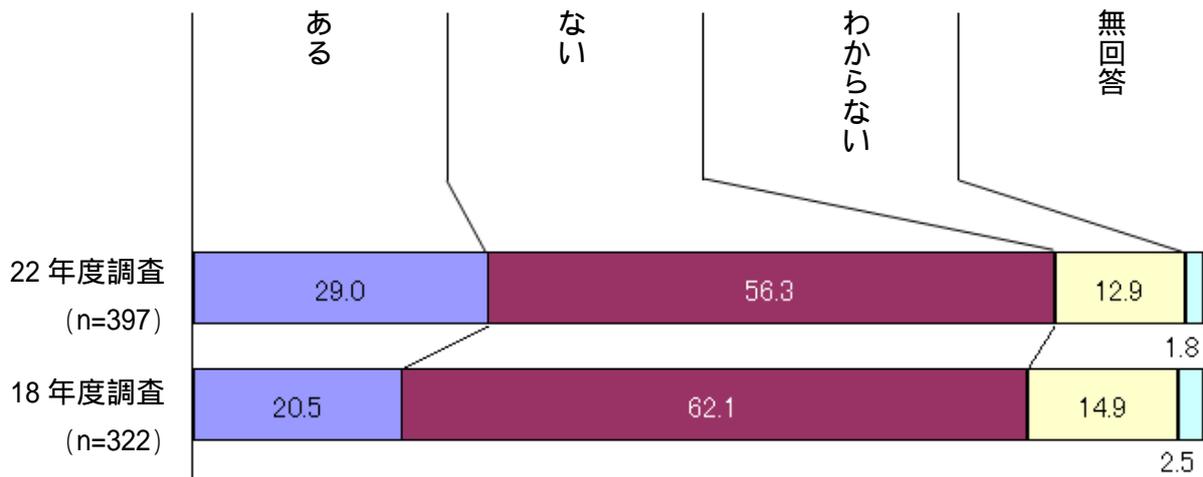


障害者が地域で暮らすことについては、「大いに賛成」(24.1%)と「どちらかという賛成」(50.1%)を合わせた《賛成》は74.2%となっている。

一方、「どちらかという反対」は4.0%となっている。「大いに反対」はいなかった。

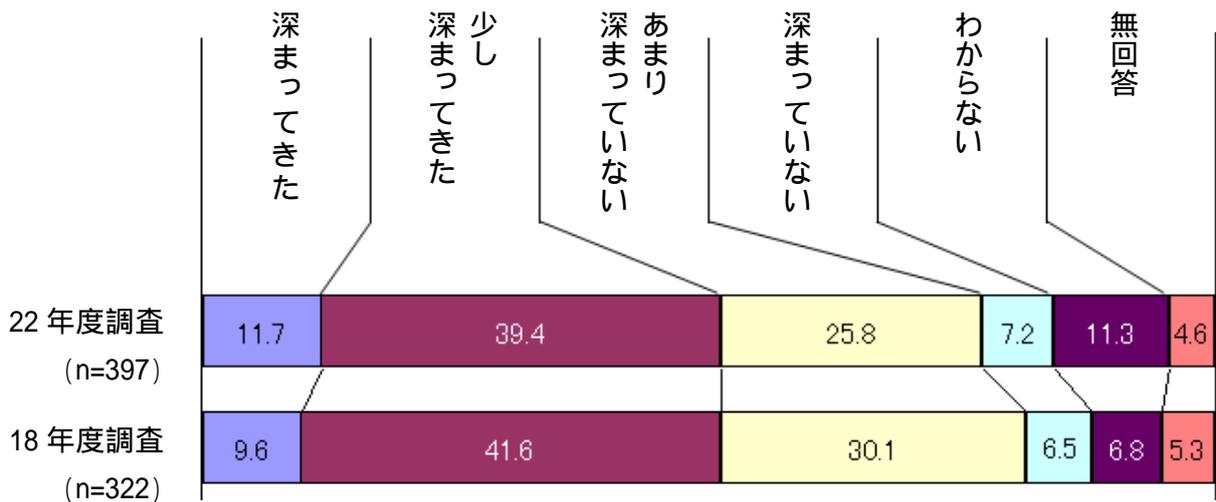
## 障害者に対する意識【市民】

障害を理由とした差別、無視やいやがらせなどを見たことがありますか。(単数回答)



障害を理由にした差別やいやがらせを見たことについては、今回(22年度)の調査について、「ある」が29.0%、「ない」が56.3%となっている。

障害のある方への理解は深まってきていると思いますか。(単数回答)



障害者への理解については、今回(22年度)の調査について、「深まってきた」と「少し深まってきた」を合わせると、51.1%となっている。

一方、「深まっていない」と「あまり深まっていない」を合わせると、33.0%となっている。